



シンフォニア通信 第9号



東京都日野市東平山 3-1-19

社会福祉法人 大家族

特別養護老人ホームシンフォニア

～ごあいさつ～

新年明けましておめでとうございます

昨年4月に開設して、あっという間の新年となりました。昨年の暮れには、初めてながら、たくさんのご利用者家族の皆さんに御参加いただき、職員も多いに頑張っ、アットホームでかつ少しゴージャスなクリスマスディナーを楽しむことができました。ただ残念なことに、ノロウイルス感染症の流行中で、小さなお子さんの参加は適いませんでしたが、大家族という法人名のように多くの方々と交流ができ、シンフォニアのようにいろんなパートの出番と協力があっ、イベントという「一つの作品」ができたことは、本当に嬉しいことです。

利用者の皆様の状態が多種多様であり、またユニットケアだからということで「より個別」ケアをとというような方向へのみ進みますと、在宅ケアの「いいところ取り」だけで、「施設ケアである必要性がない」施設になってしまいます。もちろんイベントなど成り立ちません。

ぎすぎすしてきた現代の日本社会で求められているのは、「お互いさま」の精神で、互いに支えあい、譲り合っ生きていくことの良さを再度、つくりあげて行くことではないかと考えています。

長い歴史をもつ農耕民族としての伝統を生かし、あるいは再発見しながら、お互いに生かし生かされて生きてきた「生活の仕方」を、ひ孫のような保育園の子どもたち、孫のような職員、そして家族である子どもたち世代とさまざまに交流しながら、つくっていきたいものです。そして、昔からの「祭り」の要素を持つイベントを大切にしていきたいです。

だから、ただ「楽だから」、「居室と共同生活室のほんの数メートルだけの移動しかない」というのではなく、どんな年齢になっても周りへの関心を失うことなく（これが認知症の進行を止める）、体を動かし、五感をしっかり使っ生活することを大切にしたいと考えています。またこれが「健康長寿への鍵」であると考えています。

奇をてらうわけではなく、いいものはどんどん取り入れ、特養施設として周りの施設と違いがあることも問題にせず、むしろ「違いがわかる施設」にしていきたいと考えています。そして利用者の皆さん、職員がそれぞれに「納得の人生」を生きることに関わっ施設に育てていくために、これからはいろんな工夫を積極的に取り入れた施設運営を目指します。ご理解、御協力のほど、宜しくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人 大家族

理事長 佐々木 榮一

～イベント紹介～



クリスマスディナー特集



平成 24 年 12 月 16 日 (日)

シンフォニアで初めてのクリスマスディナーが開催されました。

乾杯にてクリスマスディナーがスタート。

食事を頂きながら、“プロの演奏家（安田さん、酒井さん、新垣さん）によるアンサンブル”、“会場全体でのジングルベルの合唱”、“男性職員による第九の合唱”や“職員による赤鼻のトナカイのトランペット演奏”など、たくさんの曲が披露されました。



ほんのひと時でしたが、ご家族の方々と共に過ごすクリスマス会はとても賑やかで楽しい会となりました。

今後も利用者様、ご家族の方々の笑顔が増えるようなイベントを開催できればと考えております。

たくさんのご参加誠にありがとうございました。

